

第322号 月刊 オムスワ

オムスワはOkayama Medical Social Worker Association の頭文字の略語です

岡山県医療ソーシャルワーカー協会事務局：玉島病院内 倉敷市玉島乙島 4030 <http://www.omswa.org>



春らしい日差しが届いてくると共に花粉の季節となりました
体調管理に気をつけていきましょう



研修報告 2021年1月23日 専門コース研修

NPO 法人岡山・ホームレス支援きずなの理事・社会福祉士の新名雅樹先生より「社会とのつながり・接点を失った(関係的困窮)人への支援を考える～「きずな」の活動を通して～」というテーマの講義をいただき、その後グループワークを行いました。

岡山県のホームレス支援について全国の状況も踏まえながら、ホームレスとは具体的にどういった状況か、家を失うまでは段階を経ているが元の生活に戻るには転げ落ちた階段を一段でクリアしなければならないとの話、実際のクライアントとの関わりや支援についてなどのお話がありました。

ホームレスという状況では多くのことをあきらめたり、私たちが常識だと思っている判断基準を持っていなかったりと自ら医療につながるハードルは高いことが改めて知ることができました。医療機関で働くソーシャルワーカーとして一人ひとり背景は違っても、「生きていていいんだ」と思ってもらえるような声掛けや対応をこれからも心がけていきたいです。

倉敷中央病院 廣澤 佳菜子

【1/23 専門コース研修 オンデマンド配信のお知らせ】

1月23日(土)に全体研修を兼ねて開催した専門コース研修を、講師の新名先生のご厚意により多くの会員の皆様に聴いていただけるよう公開させていただきます。

「社会とのつながり・接点を失った人(関係的困窮)への支援を考える～『きずな』の活動を通して～」

講師：岡山・ホームレス支援「きずな」理事 新名雅樹先生(社会福祉士/伴走型支援士1級)

配信期間：2021年3月1日(月)～3月31日(水)

視聴時間：約60分

視聴方法：ZOOM オンデマンド配信

当協会ホームページの「会員向け研修」より「会員専用オンデマンド配信」ページにて視聴できます。以下のURL 又はQRコードからもログイン可能です。

https://omswa.org/?page_id=1001

ZOOM オンデマンド配信を利用します。視聴にはパスコード「Y3&U5LzY」及び名前とメールアドレスの登録が必要となります。(ログとして記録されますが公開されることはありません)

※パスコードの会員以外との共有はご遠慮ください。

※視聴後にはアンケートにもご回答ください。



研修部からのお知らせ

【研修案内】

【第2回 全体研修】A会員・B会員対象

MSW間で実践を共有する機会として「実践報告会」を企画しました。他MSWの実践を通して、ジレンマ・悩み・課題などを共有し、今後の取組みに生かすことができると考えています。多くの会員の皆様の参加をお待ちしています。なお、本研修は、MSWの実践を幅広く共有する機会とするために、B会員も無料で参加とさせていただきます。

・日時：2021年3月13日(土) 14:00～16:30(予定)

- ・方法：オンライン研修（ZOOM） *Wi-Fi 環境下での参加をお勧めします
- ・内容：「実践報告会—MSWの実践から改めてソーシャルワークを考えよう—」
報告者 *若手MSWからの報告（岡山済生会病院 早瀬友浩氏）
*中堅・ベテランMSWからの報告（倉敷スイートホスピタル 新名早希子氏）
*中堅・ベテランMSWからの報告（倉敷中央病院 松嶋史絵氏）
グループワーク

- ・申し込み：3月3日（水）までに、下記までお申し込みください。（右記QRコード）
https://omswa.org/?page_id=1035



《申し込み内容》

- ①所属 ②氏名 ③MSW経験年数 ④参加ツール（スマホ、PCなど）
- ⑤当日使用するメールアドレス

- 当日は年代ごとでのグループワークを企画していますので、可能な限り1人1機器での参加をお願いします。
- 上記対応が困難な場合（1機器複数利用で参加の方）は、申込時に必要事項を記載の上、その旨お知らせください。個別にご相談させていただきます。
- お申込みいただいた方には、研修数日前に招待メールをお送りいたします。
- ZOOMの使用方法は、一緒に案内を送付いたします。初めて利用の方は、あらかじめご確認の上準備をお願いします。

【問い合わせ】岡山ひだまりの里病院：山川（TEL：086-267-2011）

☆上記にご案内している研修に参加される方で施設長宛に公文書が必要な方はかとう内科並木通り診療所の横山までご連絡ください。 TEL 086-264-8855（代表） メールアドレス yukitosizen@gmail.com

会費納入のお願い

2020年度の会費納入がまだの方は、今年度中に会費の納入をお願いします。

- ★ 口座番号 01260-1-12282
- ★ 加入者名 岡山県医療ソーシャルワーカー協会
- ★ 振込人 ○○病院 岡山〇子（所属名を必ず記入してください）

会費振込みについてご不明な点がございましたら、財務担当 水島中央病院 若林までご連絡ください。
水島中央病院 TEL 086-444-3311

会長表彰候補者 推薦募集のお知らせ

一般社団法人岡山県医療ソーシャルワーカー協会会長表彰の受賞候補者推薦を募集します。

（表彰該当資格）

本会のA会員として通算20年以上の在籍期間を有する現任者であり、本会の事業および運営に大きな貢献があった者であること。

被表彰者には賞状と記念品を贈呈いたします。

募集期間：～2021年3月15日（月）

募集人数：2名まで

推薦される方は、当協会事務局までお申し出ください。

後日、推薦状の様式をお送りします。推薦状の提出期限も3月15日（月）ですので早めにご連絡ください。

事務局からのお知らせ

【2020年度第7回理事会報告（1月29日開催）】

日時：1月29日（金）19：00～21：00

ZOOMにてオンライン開催

議事：1. 各部事業報告・計画

広報出版部…2020年度年報



研修部・研修報告・計画

財務部・財務報告

2. 2021年度社員総会について
3. 第27回岡山プライマリ・ケア学会学術大会について
4. 研究・実践奨励活動(中川基金)申請について
5. その他



【関連団体からのお知らせ】

・岡山プライマリ・ケア学会第27回学術大会

日時：2021年3月28日(日) 9:30~16:00

会場：岡山県医師会館 4階 401・402会議室

WEB参加も可能なハイブリッド開催

テーマ：With コロナ時代における保健・医療・介護・生活支援の目指すべき方向

～地域住民のニーズにいかに対応するのか～

記念講演1「ACP：人生会議でこころのケア」 飛騨千光寺 ご住職 大下大園

記念講演2「救急の現場からコロナ時代のACPを考える」

岡山大学病院高度救命救急センター 教授 中尾篤典

情報提供 「岡山県における新型コロナウイルス感染症の状況」

岡山県保健福祉部 参与 則安俊昭

Practical Education 「オーラルフレイル、口腔機能低下症を理解し予防する」

川崎医療福祉大学 リハビリテーション学部 講師 池野雅裕

研究発表 13:35 ~15:55 当協会会員も発表予定です!

参加費：3000円(学会会員1000円)

申込み：詳細は下記よりチラシをご覧ください。

・筋痛性脳脊髄炎(ME)/慢性疲労症候群(CFS)に関する相談担当者向けセミナー

日時：2021年3月24日(水) 18:30~20:30

ZOOMセミナー

内容：医療・福祉関係者等対象理解と支援のためのセミナー

主催：CFS支援ネットワーク

参加費：無料

申込み：詳細は右記よりチラシをご覧ください。

<関連団体研修情報>

https://omswa.org/?page_id=1280



【会員の異動】

【会員登録更新届について】

個別にご案内もしていますが、未提出の方が20名ほどいらっしゃいます。次年度以降の会員向け情報発信手段としてメールの併用を予定しており、メール受信可否の確認も兼ねていますので、必ずご提出をお願いします。

☆今月の担当は、岡部(玉島中央病院)、中野(岡山市地域包括支援センター)、田中(渡辺胃腸科外科病院)でした。

4月号の担当は、福田(岡山西大寺病院)、眞宮(光生病院)、和田(岡山労災病院)です。

尚、原稿を依頼される場合は、福田(岡山西大寺病院)のメールアドレスまでお送りください。

締め切り 3月20日(土) 必着 福田 (med-renkei@saidaiji-hp.or.jp)



メディカルフィットネス

メディカルフィットネス施設とは、病院・診療所に併設される運動施設で、そこでは主に生活習慣病の予防・改善を実施します。

専門の医師による「運動処方箋」を元に健康運動指導士が個別に運動プログラムを作成するため、通常の運動施設以上に安全な運動方法が提供されます。

医療機関が導入するメディカルフィットネスの場合、医療法第 42 条に基づき、高血圧、高脂血症、糖尿病を主病とした場合、診療報酬点数の「生活習慣病指導管理料」が算定できます。

医療機関との連携など厚生労働省の条件を満たす「指定運動療法施設」においては、施設利用料を「医療費」として医療費控除することも可能です。

人員

健康運動指導士（最低 1 名）

その他のスタッフとして、健康運動指導士に準ずる能力を有する者（健康運動実践指導者など）。

設備

- ・トレッドミル、自転車エルゴメーターその他の有酸素運動を行うための設備
- ・筋力トレーニングその他の補助運動を行うための設備
- ・背筋力計、肺活量測定用具その他の体力を測定するための機器
- ・最大酸素摂取量を測定するための機器
- ・応急の手当を行うための設備

対象者

- ・生活習慣病またはその他の疾病にかかっている方。
- ・血圧が高いなど、生活習慣病予備軍の方。
- ・その他の疾病予防の必要性の高い方。



運動療法実施の流れ

① 医師による問診、診察

現在の体調、既往歴（過去の病歴など）、現在の疾病の状態、血圧、生活習慣、運動歴、食習慣など。

② 諸検査

血液検査、胸部レントゲン、心電図、運動負荷試験、体脂肪測定、動脈硬化測定。

③ 運動処方箋の作成

管理栄養士による栄養相談。運動量（強度）、運動の種類、1 週間の運動回数、個々の体力に合わせた運動メニューの作成。

④ 運動療法実施

施設で運動（週 1～3 回）を開始。

⑤ 効果判定

3 ヶ月周期の体力測定（筋力、持久力）。血液検査、運動負荷試験などのデータをもとに効果判定を行い、その後の運動プログラムの見直し、作成。